

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

平成30年11月21日（水）

### 2 確認箇所

大型機器除染設備（大型機器点検建屋内）

### 3 確認項目

大型機器除染設備集じん機のラプチャディスク作動の対応状況

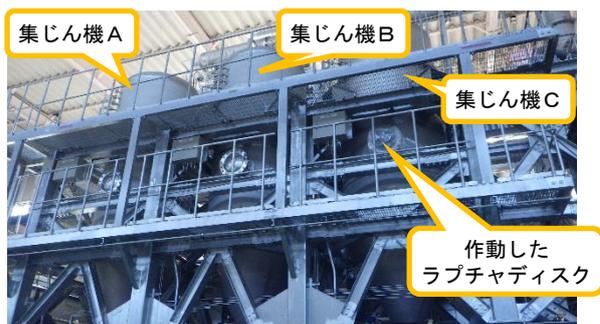
### 4 確認結果の概要

大型機器点検建屋内にあるフランジ型タンクの解体片を除染する大型機器除染設備において、11月20日に、当該設備の除染停止中に除染した放射性物質をフィルタで取り除く集じん機の排気流量調整を行う点検作業を実施していたところ、3基（A、B、C）ある集じん機のうちの1基（C）で、装置内の圧力が上昇しラプチャディスク※が作動（破裂）した事象が発生したことから、その後の対応状況等について確認した。

なお、集じん機排気は建屋内に排出されるが、建屋内は換気設備により負圧に保たれており、建屋内排気はHEPAフィルタを経て建屋外に排出される。

※ラプチャディスク（破裂板）は、あらかじめ設定された圧力で作動し、装置内の過剰圧力を開放して、装置の破損を防止する安全装置である。

- ・集じん機Cのラプチャディスクが作動して開放状態になっており、開口部はビニールで養生されていた。（写真1）
- ・建屋内の床面等は清掃されており、ダストが飛散した形跡は確認されなかったが、東京電力によると、建屋内の汚染状況の測定結果に基づき、今後床面や壁等の除染を行うとのことであった。
- ・また、原因は調査中であり、今後、作動したラプチャディスクは交換するとのことであった。



(写真1-1)  
集じん機の状況



(写真1-2)  
作動したラプチャディスク（集じん機C）の開口部の養生状況



(写真1-3)  
ラプチャディスクが閉じている状況  
（集じん機B）

- 5 プラント関連パラメータ等の確認  
各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。